

令和2年（2020年）度 旭川大学高等学校 評議員からのご意見等

・中学生の保護者は学校ホームページをよく見ている。日々の情報更新はもとより、わかりやすい情報提供に力点を置くと良いと思われる。

・学校や教諭に対する感謝が薄くなっている気がする。周囲の教育現場に向ける目も厳しい。学校評価アンケートをみると、約25%が学校に対して否定的にみている雰囲気を感じるので残念である。現場の大変さをもっと知ってほしいと感じる。

・永山地区全体がコミュニティ作りに熱心で、行政を含めて地区が盛り上げるという方向に向かっている。周囲は批判するばかりではなく支援することも必要であり、教育現場（学校）にも同じことが言える。

・街の社会資本として学校は必要である。私立高校であっても大切にしていかなければならない。

・永山地区は「人は大事」という考え方が強く、一所懸命に取り組む方が多い地区である。学校側も永山地区の人材に頼ってみてほしい。

上記のようなご意見を頂戴しました。どうもありがとうございました。

今後の学校運営の参考にさせていただきます。